

大災害債「Akibare Re 2018-1」のグループ共同発行について

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原典之）ならびにあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉恭三）は、今般、国内自然災害リスクを対象とする大災害債（以下、「キャットボンド」）「Akibare Re 2018-1」を共同発行しました。

本キャットボンドは、国内の台風リスクに加え、損害保険業界で初めて洪水リスクを対象にしているほか、三井住友海上が発行するキャットボンドは、地震火災費用^(※1)のリスクも対象にしました。また、固定部分の利回りは、1.90%と低廉な水準を実現しています。

MS&ADインシュアランスグループは、今後も再保険やキャットボンドの適切な活用を通じて、リスク管理を強化し、経営の健全性向上に努めていきます。

(※1) 地震もしくは噴火またはこれらによる津波を原因とする火災で一定割合以上の損害が発生した場合にお支払いする保険金です。

1. 「Akibare Re 2018-1」の概要

「Akibare Re 2018-1」は、英領バミューダに設立した特別目的会社である「Akibare Re Ltd.」を通じて、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の2社から、機関投資家向けに発行したものです。国内自然災害によって生じた損害があらかじめ設定した条件を超過した場合に、その超過額に応じて投資家へ償還予定の元本の一部または全部を、再保険金として充当します。

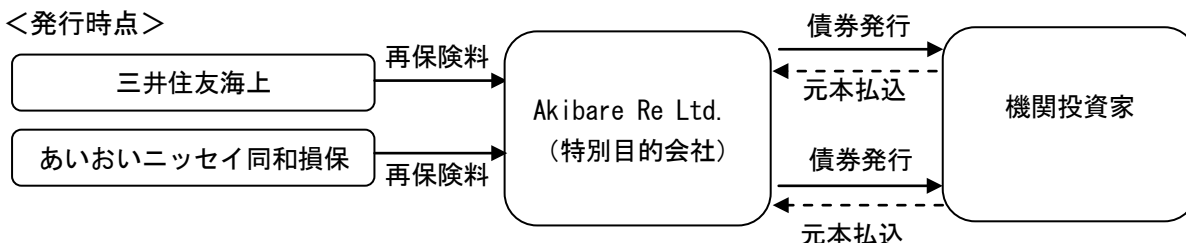
	Class A	Class B
対象会社	三井住友海上 ^{※2}	あいおいニッセイ同和損保 ^{※2}
発行体	Akibare Re Ltd.	
発行時期	2018年3月	
満期	2022年3月末（期間4年）	
対象リスク	① 国内の台風リスク ② 国内の洪水リスク ③ 国内の地震火災費用リスク	① 国内の台風リスク ② 国内の洪水リスク
発行金額	220百万米ドル （約233億円 ^{※3} ）	100百万米ドル （約106億円 ^{※3} ）
利回り	担保債券の利回り+1.90%	担保債券の利回り+1.90%

(※2) 三井住友海上は4回目の発行、あいおいニッセイ同和損保は初めての発行となります。

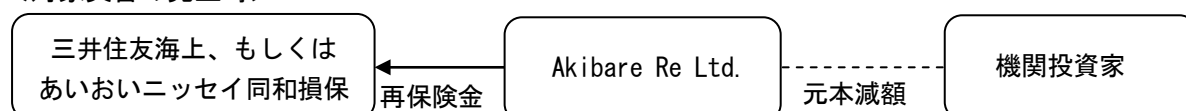
(※3) 1米ドル=106円による換算値

【仕組み】

<発行時点>



<対象災害の発生時>



2. キャットbond発行の背景

近年、台風や洪水等の国内自然災害の発生により、甚大な被害をもたらすケースが増えています。こうした大規模な自然災害の発生に備え、三井住友海上ならびにあいおいニッセイ同和損保は、再保険による保有リスク量の削減に努めてきました。さらに、機関投資家による国内自然災害リスクを対象としたキャットbondへの関心が高まっている状況を受け、両社の知見やノウハウを活用し、費用を削減する観点から、共同でキャットbondを発行することとしました。

以 上